

重複出版の疑いについて

以下のブログ

<http://blog.goo.ne.jp/lemon-stoism/e/b3009387fbd7a86f8c7ac60e0f55a82d>

に私どもが重複出版をした疑いがあるとして、

「名大は厳正に調査し適切な対応をする必要がある。」

とする指摘がなされております。2016年4月17日付です。

ネット上にこの指摘があることを知り、私どもは本学工学研究科に対して2016年4月末に以下の報告をしております。報告内容は証拠を提示できるものに限定しました。

撤回論文：鈴木誠，吉川大弘，古橋武「数量化 III 類におけるカテゴリー内積情報を用いたプロファイリング手法の提案」日本感性工学会論文誌，Vol. 11, No. 1, pp. 63-68, 2012

英文論文：M. Suzuki, T. Yoshikawa, T. Furuhashi, “A Profiling Based on Categorical Inner Products in Quantification Theory Type 3,” International Journal of Affective Engineering, Vol. 12, No. 2, pp. 89-94, 2013

1. 和文論文誌（日本感性工学会論文誌），英文論文誌 (International Journal of Affective Engineering) は共に日本感性工学会の論文誌である。
2. 和文論文，英文論文共に同じ編集委員会の審査を経てきた。
3. 和文論文投稿後に同じ感性工学会主催の国際会議 KEER2012 に英語版を投稿，発表した。その後，同学会の編集委員会からこの英語版を英文論文誌へ投稿することを薦められ，査読を経て，英文誌への掲載となった。
4. 英文論文掲載と同時に同学会編集委員会に和文論文の撤回を申し出た。
5. 第一著者の博士学位論文申請は英文論文掲載の決定を受けて行った。その際には和文論文は業績としてカウントしなかった。

工学研究科からは問題なしとの判断をいただいております。

2017年9月1日
吉川大弘，古橋 武

追記：感性工学会論文誌に添付の撤回記事（改訂版）が掲載されました。

2017年10月6日
吉川大弘，古橋 武

改訂

日本感性工学会論文誌 Vol.12, No.2, p.353 (2013) の撤回記事は、異なる学会への2重投稿を行ったと誤解を招く可能性があるため、以下のとおり改訂いたします。

<改訂前>

著者より同内容の論文が英文誌 International Journal of Affective Engineering, Vol.12, No.2, pp.89-94 (2013) に掲載されているとの報告を受け、重複を確認いたしました。用語に誤りが見られることから、著者の要望により、先に掲載した本論文を撤回いたします。

<改訂後>

著者より同内容の論文が日本感性工学会英文誌 International Journal of Affective Engineering, Vol.12, No.2, pp.89-94 (2013) に掲載されることになったとの報告を受け、著者の要望により、先に掲載した本論文を撤回いたします。

日本感性工学会 論文審査編集委員会

Erratum

Transactions of Japan Society of Kansei Engineering Vol.12, No.2, pp.353 (2013)

<Incorrect>

Retraction of Duplicate Publication

<Correct>

Upon receiving a request of retraction from the authors of the above paper for the reason why an English version of this paper was to be published in the JSKE International Journal of Affective Engineering, Vol.12, No.2, pp.89-94 (2013), this paper was retracted.

Japan Society of Kansei Engineering,
Editorial Board